

夏休みのクワガタとり

平尾小・2 わたなべ いるは

今年の夏は、かぞくでクワガタとりに行くことにしました。どんなときに、どんなところでとれるのかわからないので、お父さんに聞いたり、インターネットでしらべたりするところからはじめました。

クワガタやカブトムシは、夏になると出てくることがわかりました。そして、どこにいるのかというと、山や森の木にいます。だけれど、どんな木にもいるわけでもないようです。クワガタやカブトムシがいる木は、「クヌギの木」「コナラの木」「クリの木」など、かぎられた木にしかいません。それから夜行せいで、夜になると見つけやすいことがわかりました。まずは、とくに「クヌギの木」にすることが多いそうなので、クヌギの木を明るいつきにさがすことにしました。お父さんが子どものときにクワガタとりをしていた場所に行くことにしました。

七月二十一日の朝四時、いよいよはじめてのクワガタとりに行きました。前の日にじゅんびしておいた、かいちゅうでんとう、ピンセット、あみ、虫よけスプレー、手ぶくろ、長ぐつ、虫かご、タオルをもって、お父さんとお母さんとわたしの三人で、車で行きました。

お父さんのおすすめの山につきました。くらくて虫がいそうなところでした。はじめてクヌギの木を見ましたが、木がでこぼこして

いて、あながあいていました。車をとめて、歩いて森の中に入りました。さいしよにお父さんが山へ入っていききました。しかし、すぐにあわててもどつてきました。わたしがびつくりして、

「どうしたの。」

と聞くと、

「木の中に白へびの赤ちゃんがいたからカメラをとりに来た。」

と言って、カメラをもつてもう一度山へ入っていききました。白へびなんて見たこともなかったので、いいことがおこるかもと思いました。そしてクワガタとりをさいかいしました。しばらくすると、

「今日はあまりクワガタがいなさそうだな。」

と言いました。それでもこの日は、お父さんは三十本、お母さんは二十本、私は十本の木をかいちゅうでんとうでさがして、ノコギリクワガタを二ひき、コクワガタを五ひき見つけました。ノコギリクワガタのオスのつのがかっこよかったので、つぎはノコギリクワガタをたくさんとりたいと思いました。

家に帰ってきて、小さい虫かごに土とはっぱと木のえだとこん虫ゼリーをセットして、とつてきたクワガタを入れました。そのあと私はクワガタをよくかんさつしました。わたしとお母さんは、はじめてクワガタとりに行って、とても楽しかったです。またノコギリクワガタをとりに行きたいと思いました。

つぎのお父さんのお休みの日に、もう一どクワガタとりに行くことにしました。そして、その日も朝四時から行きました。この日はお母さんが見つけたところへ行きました。さいしよに見つけたのはカブトムシでした。

「カブトムシが出てくるとクワガタが少なくなる。」

とお父さんが言っていたので、あせりました。その場しよで見つけることができなかったので、お父さんが知っているべつの場しよに行きました。道に鳥に食べられたカブトムシがありました。明るいうちは鳥がいるので、クワガタなどの虫は、夜に出てくることが多いようです。ここではノコギリクワガタとコクワガタとカブトムシがとれました。たくさんとれたので大きな虫かごにかえました。虫かごの中も土とかれはと木とゼリーをふやしました。コクワガタが小さくてえさのとりあいになれてしまうので、小さな虫かごにうつしました。一日でも元気に長くすごしてほしいです。